

質問コーナー

質問

親の足腰が弱り、車いすを利用することが増えました。車いすの介助の時に気をつけることはありますか？

回答

車いすの介助は、声かけをしながら動作をゆっくり確実に行いましょう。車いすの介助は介助者と被介助者が言語外のコミュニケーションを取りづらい状態にあります。そのため、こまめな声かけが重要です。また、座っている被介助者はスピードを感じやすいことからいつもよりもすべての動作をゆっくり行うように心がけましょう。

車いすの介助中は、以下のようなポイントに注意しましょう。

- 動作のたびに声かけを行い、体調の変化を声掛けで確認する。
- 移動時以外は必ずブレーキをかける。
- 急発進、急カーブ、急停止などはしない。
- 移動中は、手や足を巻き込んだり挟んだりしないよう、常に確認しながら介助する。
- 傾斜や段差、溝などがある場所、砂利道、砂地などはできるだけ避ける。
- 曲がり角では、大きく膨らみながら曲がる。
- 一人での介助が難しい急な傾斜、段差などの場面では、無理をせず周囲に助けを求める。
- 外出の際には被介助者の気分や体調を聞き、無理のないようにする。
- 寒い時は、保温のためひざ掛けなどを用意する。
- 被介助者の身体が麻痺側に傾いてしまうときは、クッションなどを入れて姿勢を調節する。
- 介助者の腰痛など体調不良を防ぐため、無理な姿勢にならないよう気をつける。

車いすのシートや背もたれは、一般的に硬めの素材で作られていますが、長時間座ると腰を痛めたり、お尻に床ずれができたりする可能性があります。こまめに休憩をとり、身体に負担をかけないようにしましょう。被介助者の身体への負担を減らすため、クッションを腰に当てたり、座面に身体が滑らず体圧を分散しやすい低反発マットを敷いたりするのも良いでしょう。また、車いすは定期的なメンテナンスも重要です。ブレーキやタイヤの状態を定期的に確認し、パンクなどはあらかじめ修理しておきましょう。

(病院リハビリテーション科)